

天理圖書館蔵

正平七年写

寂勝王經音義和訓のアクセント

西崎 亨

天理大学付属天理図書館には、二種類の「寂勝王經音

義」の写本が蔵されている。その一は、登録番号・1834

三 次に示す如き附箋を巻末にもつ、「承暦三年本金光

明最勝王經」の忠実な写しである。

貞觀九年十一月紀命七太寺講演仁王」般若云々專寺

僧綱及別當三綱五」師等相共勒加檢察云々」五師大法

師草

尚、本書は、天理図書館貴重書目録には、近世写とあ

るものである。その二は、登録番号・1834313 正平七

年の巻末識語をもつもので、以下、本稿において、アク

セントを中心とした報告を試み、御教示を賜りたいと思

うところのものである。

本音義は、一冊（二六丁内目次一丁）からなり、巻末

識語に、次の如く見える。

正平七年⁴辰朱明之天披類

聚名義之書籍注寂勝王經

之音訓願以此小書速成彼

大果而已

仲甚

つまり、正平七年（一三五二）に、仲甚が撰述・手写したものである。

尚、本音義は、その識語に、「類聚名義之書籍ヲ披キ」

と見える如く、本書が、觀智院本類聚名義抄」に依拠し

て編纂されていることは、その部立、及び所収漢字の注

記の点に見ることができる。

先ず、「部立」については、その目次は、次頁に示す如

くであるが、人部から始まり、言・心・小・中・牛・口

・足・木・火・土……以下八十三部首、（但し、目次

に掲載のない「戸」部を加えれば、八十四部首）及び難

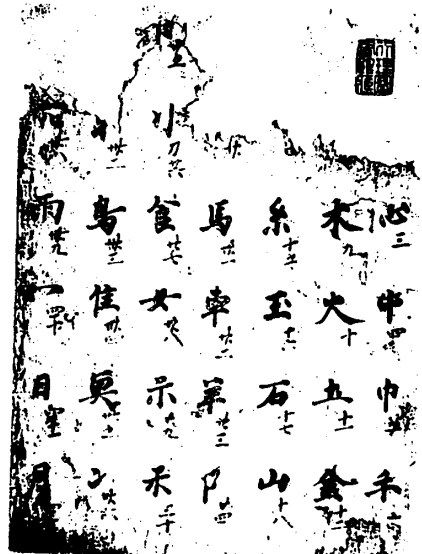
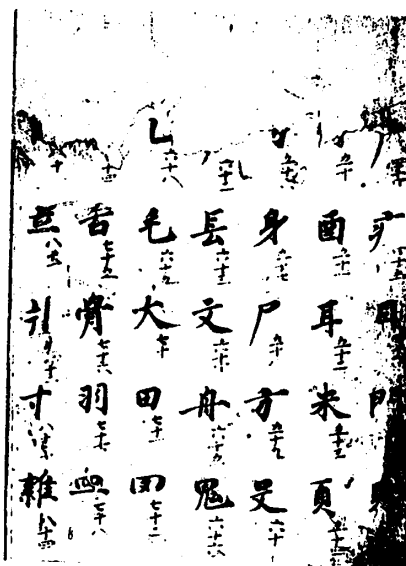
篇（七十八文字）に終る点でも了解できる所であるが、

部首の順序は、必ずしも名義抄に同じではない。

例之ば、本書に於ける十番目までを例にとると、

因みに、各部首別の標出漢字数は次の如くである。

人 (35)	言 (34)	心 (29)	小 (29)	巾 (3)	手 (44)	口 (28)	足 (15)
木 (32)	火 (21)	土 (12)	金 (20)	水 (52)	艸 (41)	糸 (31)	玉 (13)
石 (10)	山 (7)	走 (20)	仁 (5)	馬 (13)	車 (6)	羊 (5)	阜 (16)
邑 (8)	刀 (11)	食 (12)	女 (20)	示 (12)	禾 (9)	虫 (15)	犬 (12)

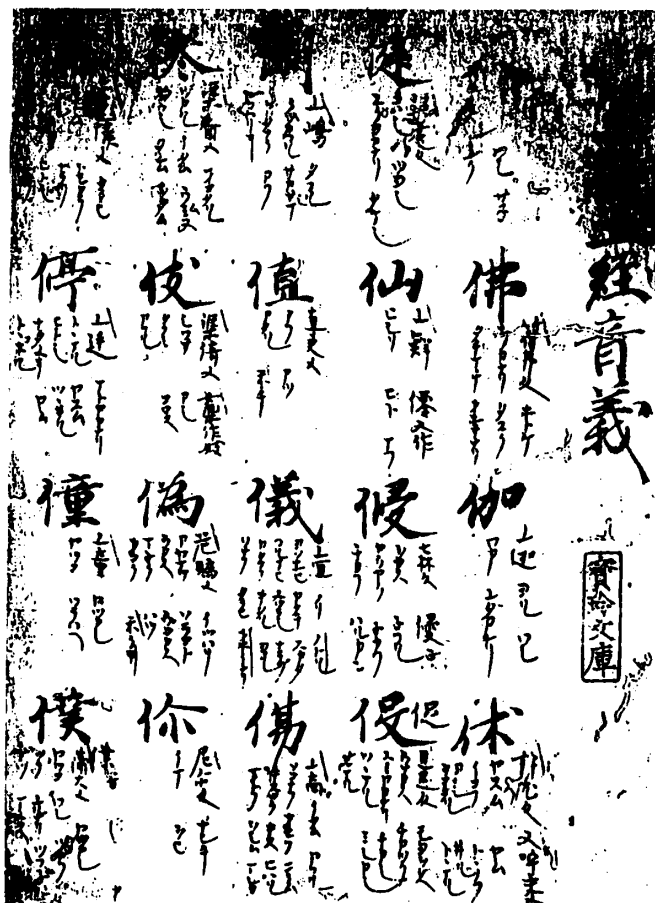


(1) 人 (2) 言 (3) 心
(4) 小 (5) 巾 (6) 手
(7) 口 (8) 足 (9) 木
(10) 火
の如くである。
各葉は、下に
示す如く、表裏
共に六行で、原
則として一行四
字の漢字が配列
されている。

尚、本書は、識語に示されているように、「観智院本」

鳥 (12)	佳 (8)	魚 (3)	シ (6)	宀 (15)	穴 (10)	雨 (11)	冂 (2)
日 (15)	肉 (24)	彳 (13)	广 (10)	疒 (16)	目 (11)	門 (16)	貝 (7)
戈 (13)	竹 (8)	酉 (9)	耳 (5)	米 (5)	頁 (12)	欠 (6)	力 (7)
身 (4)	尸 (7)	方 (5)	及 (7)	香 (3)	牙 (5)	影 (6)	文 (9)
舟 (4)	鬼 (3)	厂 (3)	乙 (4)	毛 (4)	大 (3)	田 (7)	四 (4)
人 (5)	衣 (4)	舌 (4)	骨 (4)	羽 (3)	皿 (4)	牛 (4)	爪 (3)
立 (3)	升 (5)	寸 (3)	户 (4)	雜 (18)			

以上、一〇六六字に及ぶ。



(21)

する)が認められ、「声点」の体系は、「四声」と推測される。尚、「入声」点については、(1)に示す「玉」(入声濁)の一例のみが見られるにすぎない。

3

以下に於いては、本音義に所載の差声訓の全用例について記述する。整理にあたっては、音節数によつてその型を分け、その体系の中に、どのような品詞が分布するかを見る。記述にあたっては、片仮名で和訓を示し、次にその漢字をあげる。尚、「観智院本類聚名義抄」の声点と一致するものについては、△印を付す。

ハ一音節単位の型

(1) 平型(○)

(a) 名詞 ケ食 ス酸 △乳

(2) 上型(●)

(a) 名詞 ヲ猪

(b) 動詞 ス為

(3) 去型(●)

(a) 名詞 ハ齒

(d) 副詞 工敢

ハ二音節単位の型

(1) 上上型(●●)

(a) 名詞

アタ	離	キズ	瑕	キリ	霧	クガ	陸	クマ	阿
サキ	崎	サデ	濯	シハ	理	ハシ	涸	ハシ	序
ハハ	蟬	ヒゲ	髻	ヒサ	膝	ヒト	仙	フタ	蓋
ミナ	葉	ミナ	理	ムネ	持	モミ	穀	ヤブ	藪
ヨキ	斧	ヲヒ	姪						

(2) 上平型(●○)

(a) 名詞

イト	純	ウヘ	端	ウヤ	履	キタ	坎	ノリ	矩
ノリ	典	ハシ	蹠	ハシ	途	ヒタ	臂	マナ	區
ヤマ	輻	ヨリ	保	ヨリ	宅				

(b) 動詞

イル	選	イル	函	ウル	離	オク	據	オツ	埴
オツ	懼	オツ	怖	オツ	悼	オフ	損	オル	織
カク	瑕	カク	蝕	カク	黷	カフ	博	カフ	離
カフ	質	カフ	變	カル	枯	カル	涸	キク	門
キユ	治	キル	御	クル	哺	クル	唇	サフ	擁
シヌ	没	シヌ	殞	スク	躍	スク	濯	スツ	損
スツ	指	スブ	輪	スブ	宛	ソフ	傍	タル	足

アヤ理(地名 平平) モト跋(地名 平平)

へ三音節単位の型

(1) 上上上型(●●●)

- (a) 名詞 アクタ^ア 芥^カ イカタ^イ 鰯^カ キサヤ^キ 鹿^カ タタミ^タ 畳^タ
 フヒデ^フ 夷^ヒ ビタ^ビ ヒ^ヒ 揚^ヒ

(2) 上上平型(●●○)

- (a) 名詞 ササギ^サ 鶴^サ ミドリ^ミ 紺^ミ
 (b) 動詞 アフグ^ア 踵^フ オドス^オ 威^ド クタル^ク 薄^タ サハル^サ 閑^ハ
 サメク^サ 堀^メ スクム^ス 濯^ク スゲル^ス 飽^ゲ スグル^ス 雄^ル
 タバフ^タ 惜^バ タフル^タ 狂^フ タブル^タ 雉^ブ タラス^タ 欠^ル
 トトム^ト 底^ト ナラブ^ナ 匹^ラ ナラブ^ナ 隣^ラ ヨバフ^ヨ 喚^バ

(3) 平平上型(○○●)

- (a) 名詞 サラゲ^サ 壺^ラ ノンド^ノ 咽^ン
 (b) 動詞 イコフ^イ 掲^コ オホフ^オ 翳^ホ カクル^カ 翳^ク カゾフ^カ 掠^ゾ
 コホル^コ 環^ホ コホル^コ 溢^ホ シコツ^シ 護^コ シヅム^シ 鎮^ヅ
 シヅム^シ 威^ヅ スサブ^ス 荒^サ タハヌ^タ 秉^ハ ツカル^ツ 傳^カ
 ツツム^ツ 噉^ツ ナジル^ナ 話^ツ ナフル^ナ 擾^{フル} ナラフ^ナ 閑^ラ
 ノゴフ^ノ 技^ゴ ハカル^ハ 盡^カ ハラフ^ハ 誓^ラ ヒカル^ヒ 淳^カ
 マドフ^マ 妾^ド

(4) 平平平型(○○○)

- (c) 形容詞 アツシ^ア 暑^ツ オホシ^オ 御^ホ コヒシ^コ 慕^ヒ ヒトシ^ヒ 匹^シ

(a) 名詞 アシタ^ア 調^シ ウタ^ウ へ^タ 岸^ヘ エヤミ^エ 疫^ヤ ココメ^コ 魔^コ

- ゴト^ゴ 子^ト 狂^子 コビ^コ 子^ビ 泥^ト タグ^タ ヒ^グ 姫^ヒ ソハ^ソ キ^ハ 疾^キ
 テシロ^テ 釧^シ フロ^フ 子^ロ 馳^シ

(c) 形容詞 タダシ^タ 淳^ダ

(5) 上上上型(●●●)

- (a) 名詞 イララ^イ 鯉^ラ ソブ^ソ ネ^ブ 奴^ネ

(6) 上上平型(●●○)

- (a) 名詞 オホヒ^オ 首^ホ カラシ^カ 芥^ラ ヤマゴ^ヤ 耀^マ ユバリ^ユ 溺^バ
 (b) 動詞 キツク^キ 城^ツ ハマル^ハ 威^マ

(7) 上上上型(●●●)

- (d) 副詞 スミニ^ス 純^ミ

(8) 上上平型(●●○)

- (b) 動詞 ワガヌ^ワ 宛^ガ

(9) 平平去型(○○○)

- (b) 動詞 ウミヌ^ウ 悔^ミ マガフ^マ 續^ガ クタク^ク 抹^タ

(c) 形容詞 タダシ^タ 薫^ダ

(10) 平去平型(○●○)

- (b) 動詞 カクル^カ 勃^ク

(11) 平平□型へ()内は、観智院本類聚名義抄の記載

- (a) 名詞 ヨドミ^ヨ 審^ド (平平濁平)

(b) 動詞 アガム^ア、糞^ミ (平平濁上) アハス^ア、裁^サ (平平上)

オビク^オ、舟^{フネ} (平上濁○) オホフ^オ、既^サ (平平上)

クグル^ク、潜^{カクレ} (平平上 但し国書原本は平平濁上)

ツカル^ツ、疲^{ツラ} (平平上) ツカル^ツ、勞^{ロウ} (平上平)

ナゲク^ナ、唳^{ナゲク} (○平濁上 高等本平濁上 ナツク

授^{サツ} (平平濁○) ハタル^ハ、鐵^{テツ} (高等本平上上)

マドフ^マ、疊^{タガヤカシ} (平平濁○) マバル^マ、膳^{テン} (平平濁

上) ユルフ^ユ、爛^{ラン} (平上平) ユルフ^ユ、羽^ウ (平

平○)

(c) 形容詞 ナガシ^ナ、暑^シ (平平濁上)

(12) 上上□型

(a) 名詞 カハラ^カ、葦^{アサ} (註○) ハジメ^ハ、序^シ

(b) 動詞 オクル^オ、將^{サツ} (國書原本上上平) カサヌ^カ、葦^{アサ} (上

上平) クビル^ク、經^{キヤウ} (上上濁○) サガス^サ、揚^{ヤウ}

サガス^サ、涼^{リヤウ} (上上濁平) ツクス^ツ、缺^{ケツ} ハバ

ム^ム、輝^キ (上上濁○) ムカフ^ム、鱧^{リョウ} (國書原本上

上平) ヲツク^オ、踊^{ユウ} (平平濁○) ヲツク^オ、躍^{ユウ}

(上上濁○) ヲツク^オ、驟^{シュウ} (上上濁○)

(c) 形容詞 アツシ^ア、優^{ユウ} (上上○)

(13) 平上□型

(b) 動詞 カクル^カ、駕^カ カクル^カ、咲^{サキ} (平平○) カクル^カ、愛^{アイ}

(鎮國寺神社本 平上平○)

(c) 形容詞 ヤマシ^ヤ、勞^{ロウ} (平上○)

(14) 上平□型

(b) 動詞 ツキヌ^ツ、敗^{サイ} (上上平) トクス^ト、敏^{ミン}

(15) □去□型

(a) 名詞 アタレ^ア、價^ヤ (高山寺本 上上○)

(16) □上上型

スベシ^ス、容^{ヨウ}

(17) □□平型

(b) 動詞 ナラブ^ナ、倫^{リン} (上上平濁)

(18) 平□□型

(a) 名詞 ススミ^ス、壽^{シユウ} (平平濁上)

(19) □□平上型

(b) 動詞 ホフル^ホ、屠^ト (平上濁平)

(20) 平去□型

(a) 名詞 ハタシ^ハ、踐^{セン} (平上○)

〈四音節單位の型〉

(1) 上上上平型 (●●●○)

- (b) 動詞 アギトフ^ア 残^ニ ウグツク^ウ 驟^ウ クサギル^ク 縛^ウ
- (2) 平平平平型(○○○○)
- (a) 名詞 イビドヨ^イ 鴉^ビ タタムギ^タ 臂^タ タチガミ^タ 髪^チ
- ビチリコ^ビ 泥^チ
- (3) 平平上平型(○○●○)
- (a) 名詞 イチカド^イ 間^チ シスカス^シ 避^ス タタムギ^タ 臂^タ
- ナカヒダ^ナ 心^カ ヤツカリ^ヤ 奴^ツ
- (4) 平上上上型(○●●●)
- (d) 副詞 イヅクソ^イ 馬^ヅ
- (5) 平上平上型(○●●○)
- (b) 動詞 カズオフ^カ 輪^ズ
- (6) 上上上上型(●●●●)
- (a) 名詞 カナカキ^カ 釧^ナ
- (7) 平平平上型(○○○●)
- (a) 名詞 マブシハ^マ 翳^ブ
- (b) 動詞 クサカフ^ク 摧^サ
- (8) 去上平上型(○●●○)
- (d) 副詞 ナズレン^ナ 著^ズ
- (9) 平平上□型
- (b) 動詞 アキナフ^ア 賃^キ (易^ナ 享^フ 平平上○)

- (10) 上上上□型
- (c) 形容詞 アタラシ^ア 惜^タ (色^ラ 葉^シ 字^タ 類^ラ 抄^惜 可^上 惜^上 上^上 上^上)
- (b) 動詞 キズツク^キ 瘡^ズ (上^ツ 上^ツ 濁^ク ○○) ネグ^キ ラフ^ズ 勞^ラ
- (上上濁上平)
- (11) 去上上□型
- (a) 名詞 メカツラ^メ 桂^カ (去^ツ 上^ラ 上^ラ)
- (12) 上上□□型
- (b) 動詞 アクヒス^ア 欠^ク アシカル^ア 憚^シ (上^ヒ 上^ス ○○)
- ハカシム^ハ 舟^カ (上^シ 上^ム ○○)
- (13) 上平□□型
- (b) 動詞 ツビタリ^ツ 弊^ビ (平^タ 上^リ 濁[○] ○○)
- (14) 平平□□型
- (b) 動詞 ホトホル^ホ 焚^ト (平^ホ 平^ル ○○)
- (15) □□平平型
- (a) 名詞 カミド^カ 杵^ミ 塵^ド (霹^カ 霹^ミ 塵^ド 平^カ 平^ミ 平^ド 平^カ)
- △五音節單位の型▽
- (1) 平上上上平型(○●●●○)
- (b) 動詞 カキコナス^カ 擾^キ
- (2) 上上上上平型(●●●●○)

(b) 動詞 ヒコヅラフ^テ

(3) 平平平上[□]型

(b) 動詞 ヤフサガル^テ (平平平上濁平)

(4) 平平去平[□]型

(d) 動詞 ミザカリニ^カ (上平濁平平○)

(5) 平平^{□□}型

(b) 動詞 マヘマウシ^護 (平平○○○)

へ六音節単位の型へ

(1) 平平平平上平型 (○○○○●○)

(a) 名詞 オムナカヅラ^芳

(2) 平平平上平平型 (○○○○●○○)

(b) 動詞 ヒトコロベリ^匹 (高山寺本に平平平上上平濁上)

(3) [□]平上平^{□□}型

(c) 形容動詞 ニギラカナリ^賦 (平平濁上平○○)

以上について、その体系をまとめて整理すると次の如くなる。

・一音節単位語

平型 (○) 上型 (●) 去型 (●)

・二音節単位語

上上型 (●●) 上平型 (●○) 平平型 (○○)
平上型 (○●)

・三音節単位語

上上上型 (●●●) 上上平型 (●●○)
平平上型 (○○●) 平平平型 (○○○)
平上上型 (○●●) 平上平型 (○●○)
上平平型 (●○○) 平平去型 (○○●)
平去平型 (○●○)

・四音節単位語

上上上平型 (●●●○) 平平平平型 (○○○○)
平平上平型 (○○●○) 平上上上型 (○●●●)
平上平上型 (○●●○) 上上上上型 (●●●●)
平平平上型 (○○○●) 去上平上型 (●●○○)

・五音節単位語

早上上上平型 (○○●●●○)
上上上上平型 (●●●●○)

・六音節単位語

平平平平上平型 (○○○○●○○)
平平平上平平型 (○○○○●○○)

副詞	動詞	名詞	一音節	二音節	三音節	四音節	五音節	六音節
6 7	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
133 226	○ 5	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1
25 76	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1
11 18	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
2 2								
1 2								

以上の如くであるが、次に各体系と、その体系にどのような品詞が分布するか、観智院類聚名義抄と一致する割合はどうか、という点について整理する。次表の如くである。(尚、この表は、本音義と観智院本名義との標出字が、同一漢字かつ同一アクセントを付してある場合についてのものである。)

右表のうち、用例数の比較的多い、二、三音節単位語によって、体系をまとめて整理してみると、次のよう

になる。

二音節単位語

上上型(●●)
上平型(●○)
平平型(○○)
平上型(○●)

三音節単位語

上上上型(●●●)
上上平型(●●○)
上平平型(●○○)
平平平型(○○○)
平平上型(○○●)
平上上型(○●●)
平上平型(○●○)
平去平型(○○○)
平去平型(○○○)

右に見るアクセント体系は、名義抄の体系、すなわち院政期の体系に近いものとみて大過あるまいと思われるが、「按類聚名義之書籍」とはいうものの、必ずしも一致しない部分がかなり見られるのである。以下、その点について、ふれてみたいと思う。

その一点は、全差声訓に対する名義抄と一致する語数の割合は、 $\frac{178}{331}$ 、則ち、五三・六%である。尚、部分的差声訓の例も含めて、名義抄と一致するものの比率は、五八・五%で、四割強の不一致の語例が、存する。

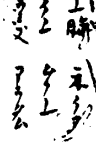
ことは、本音義のアクセント史料としての、一つの側面と示す点であらうと思われる。

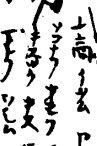
4

名義抄（観智院本）と一致しない例の中で、キサヤ（上上上）が、名義抄で「去上濁」の如く、名義抄で「去」の音節が、本音義で「上」声になっている点は、本音義が、平安時代のアクセントより新しく、鎌倉時代のアクセントを示すものとみてよいものであるが、逆に、名義抄において、「上」声の音節が、本音義で「去」声の音節を示す点は、注目すべき点であらう。

そこで、本節に於いては、本音義において、去声拍をむつ語について述べることにする。

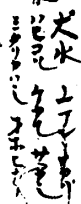
先ず、本音義に見られる「去」声拍をもつ語例を示す。

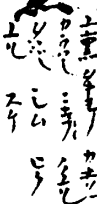
悔  (4+2)

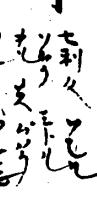
傷  (2+4)

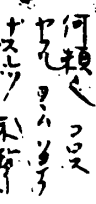
林  (5+3)

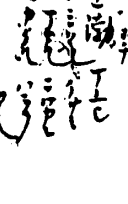
傷  (1+1)

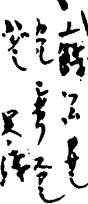
滑  (9+1)

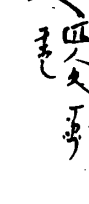
董  (10+2)

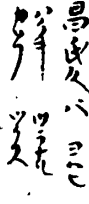
刺  (13+5)

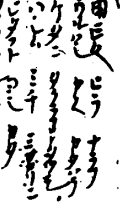
客  (16+6)

勃  (21+6)

鐵  (6+3)

續  (11+2)

齒  (25+4)

方  (21+5)

敢  (22+1)

以上が「去」声拍をもつ語の全用例であるが、右の「ち」「價」等の「アカヒ」の「タ」については、他の用例の「去」声点の位置から見て、ここでは存疑とする。

以上を、次の如く整理する。

〔去〕 ハ（齒） バ（観）

エ（敢） エ（観・鎮）

〔去×〕 マトフ（傷）

〔去上平上〕 ムハラ（判） ムハラ〔観〕
ナズレソ（号） ナズレソ〔観〕

ゝ以上オニ音節去声ゝ

〔平去平〕 カクル（勃） カクル〔観・鎮〕

〔平去X〕 ハダシ（踐） ハタシ〔観〕

ゝ以上オニ音節去声ゝ

〔平平去〕 ウミ又（悔） ウミ又〔観〕

クダク（抹） クダク〔観〕

タダシ（董） タシ〔観〕

マガフ（續） マカフ（縮紛）〔観〕

*マカフ（紛）〔観〕

*マカフ（紛）〔図〕

〔平平去平X〕 ミサカリニ（方） ミサカリニ〔観〕

ゝ以上オニ音節去声ゝ

（）〔〕内の観は観智院本、鎮は鎮同字國神本、図は圖書寮本を義抄

ところで、從來「去声点」は、一拍語及び二拍語の語

頭、つまり、第一音節以外には、位置しないとされてきた。

ところが、本音義に於いて、オニ音節、オニ音節目に

も、去声拍が認められ、特に注目すべき点であらう。

5

ここで、去声拍を有する語例について、類聚する。

〈無窮会本大般若經音義〉

歴バスク 怪バキ 巢トリノス 渚ズ

沼ズ 更バスク

〈天理本大般若經音義〉

階バシ

〈古抄堂文庫本俱舍論音義〉

齒バ 蛇バミ 粗ホホ 如モシ 逕ブ

輝カハヤク ガウハシ

〈前田本色葉字類抄〉

舌エセシ 纒エヒ 作皮サヒツ 芭ナサ

尤蹄子セ 麴魅ナミ

〈岩崎本字鏡〉

得エタリ 稍ヤハ

〈倭名類聚抄〉（馬淵和夫氏の索引による）

「去」の例 ニロ 去平の例 四

「去上」の例 十六 去平平の例 四

「去上上」の例 四 「去上上」の例 二
 「去上上」の例 一 「去上上」の例 三
 へ仁平四年写 三教指帰

新抄ア

なとば「去」声拍が「一音節目」に来ているものであるが、

へ古粹堂文庫旧蔵大般若經音義

撫モツ 痊ノソク 形ミブクロ

へ岩崎本字鏡

表ヲモハカル

へ仁平四年写 三教指帰

厭ノガト

へ大東急文庫蔵大般若經音義

虧ヤブル

へ倭名類聚抄

「平平去」の例 五 「平去上上上」の例 一

へ梅沢本古今和歌集

非ハキ

などの如く、オ一音節以外に「去」声拍の認められる例もいくつかある。

この多拍語の去声拍に關して、奥村三雄氏は、「別の例で、上声表記の形の対応する場合が多いが、そこには右上の声点（去声）が、左上（上声）に相通ずるといふ傾向を想定すべきであらうか」とし、又、濁点表記との關係の想定もされている。

ところで、「六地藏寺蔵大般若經音義」に、

凸アガル 蔓アナツル 闌トツ 壁カベ
 微ヲゴル

といった例が見られるが、「溝ミソ」「莉ヤフ」「躬カム」等、□の例も多数見られるので、□を單に濁点表記とすることは出来ないか、もしれないが、「アガル」「アナツル」などの語は、觀智院本名義抄では、すべて「上濁点」の語であり、六地藏寺本で、その濁声点の部分にのみ「…」付されている点は、濁点表記との關係を想定し得る一つの例であらう。

ところで、本音義の去声拍をもつ語例についてであるが、その資料の分量比からして、かなり注目すべきものの様に思われる。

因みに、本音義には、字音語の例にも多く、

ニ音節目に去声点のあらわれる例を示しておこう。

平去型 機 エイ(留) 涕 テイ(留) 碎 サイ(留)

飽 ハウ(留) 賓 ビン(留)

本音義の去声拍のうち、オ一音節に去声拍のくる「^ハ齒^ハ敢^ハ寤^ハ」の三語は名義抄(觀智院本)と一致する。

「ミザカリニ(方)のみが、名義抄に於て平声拍であるが、他の例については、名義抄に於いて上声拍を有する例である。上声↓去声という対応に対しては、先に示したが奥村三雄氏の一つの考え方がある。

平声↓去声については

例えば、先に示した、梅沢本系古今和歌集の「ハギ(腓)」は、他の古今和歌集の声点本では「ギ」にはすべて「平濁声」拍である。この、梅沢本系古今和歌集の「上去濁」例については、秋永一枝氏は、不審としておられる。ただ次のような推測はされる。「濁表示は右側(多く右肩)に差されるといふ通念が私まるのは室町頃からであるが、「はき」へ去平↓という声点を移点することが万一あったとすると、「は」の去声は、「ぎ」の誤りと誤解して、「き」に去点を差すことがあり得るかもしれない。

い。(古今集声点本の研究) いずれにしても、他の例で平声表記と対応する去声表記の例の類聚をまつ必要があらう。

6

以上、天理図書館蔵最勝王義所載の国語アクセントの概略について略述を試みた。本音義が、「類聚名義之書」籍ヲ撰キとあるものの、その差声訓について見る限り、本書は、音訓を類聚名義にもとめている為、南北朝頃には於ける国語資料としては特に有益な資料といふ事は出来ない(古辞書の研究)とはあるが、その一致率は、六割弱で、他の名義抄(図書寮本・高山寺本・鎮国寺国神社本)、字鏡等と一致するものもかなり見えるが、それらとも一致しない語例がかなり見られる。その点、差声訓例の補充という点で、本音義の資料性を認めてよいと思われる。尚、語例については、索引篇を参照願いたい。次に、注目すべき点として、二音節、三音節目に付された「去声点」の存在がある。多拍語の去声拍に關しては、未だ十分な説明のなされていないのが現状であるが、その点、本音義が、その用例を提供する点で、その資料

的意味を増すものと思われる。

尚、「純」字に「スミニ」(上平上)の声符が見える。

「純」字についての差声された例は知らないが、いずれにせよ、上平上(●○○)注目にあたいするものである。院政末アクセントから近世初期アクセントへの変化過程の型とすべきものか。

名義抄(○○●)↓●○○↓補忘記(●○○)

いずれにせよ、本資料については、多くの考察すべき点を含みながらも、そのアクセント史料としてはもとより、国語史料としての有益性について、更に詳しく検討を加え、その位置付けをするに十分な史料と思われる。とにかく、ここでは、史料の提供を旨として、筆を擱く。(以下に、索引篇として、本音義所載の差声訓の索引を示す。)

索引篇

ア フ	ア ハ ス	ア ハ	ア ッ シ	ア ッ シ	ア ッ シ	ア タ ラ シ	ア タ ヒ	ア タ		ア シ タ	ア シ カ ル		ア シ	ア ク ヒ ス	ア ク タ	ア ク	ア キ ナ フ	ア キ ト フ	ア カ ム
虻	裁	禾	暑	優	惜	價	離	調	憚				邪	欠	芥	足	貧	咳	寵
15才 三	20才 一	14才 六	17才 六	2才 三	4才 五	1才 一	16才 二	2才 五	4才 五				13才 二	21才 四	9才 六	6才 六	19才 四	22才 四	16才 五
ア フ	ア ハ ス	ア ハ	ア ッ シ	ア ッ シ	ア ッ シ	ア タ ヒ	ア タ	ア シ タ	ア シ カ ル				ア シ	ア ク ヒ ス	ア ク タ	ア ク	ア キ ナ フ	ア キ ト フ	ア カ ム
虻	裁	禾	暑	優	惜	價	警	調	憚				邪	欠	芥	足	易	翠	寵
観 僧 下 29 二	観 僧 中 41 七	観 法 下 10 三	観 仏 中 88 八	観 仏 上 32 七	観 法 中 78 二	高	観 僧 中 133 六	鎮 Ⅱ 29才 五	観 法 中 77 六				観 法 中 36 四	観 僧 中 44 八	観 僧 上 35 八	観 法 上 73 一	観 仏 中 90 五	観 法 下 132 二	観 法 下 64 二
イ ラ ハ	イ ユ	イ フ	イ ヒ ト ヨ	イ ヌ	イ ト		イ ツ ク ソ	イ チ カ ト	イ コ フ				イ ク	イ ク	イ カ タ			ア ヤ	ア フ ク
顛	愈	族	鴿	寝	純		馬	聞	抹	掲			穀	蕪	鎔			理	證
16才 三	3才 五	2才 五	15才 六	16才 六	10才 四		25才 五	19才 二	5才 三	4才 五			22才 二	9才 五	8才 四			11才 一	6才 一
イ ラ ハ	イ ユ		イ ヒ ト ヨ	イ ヌ	イ ト		イ ツ ク ソ	イ ツ ク ソ	イ コ フ	イ コ フ			イ ク	イ ク	イ カ タ			ア ヤ	ア フ
顛	愈		鴿	寐	純		馬	馬		掲			穀	蕪	鎔			理	蛇
観 僧 下 6 八	観 法 中 87 八		観 僧 中 115 三	観 法 下 46 四	観 法 中 128 五		鎮 Ⅱ 89才 五	観 僧 中 132 四		観 法 中 69 五			鎮 Ⅱ 71才 七	観 僧 中 67 一	観 僧 上 18 六	観 僧 上 124 六		観 法 中 24 四	鎮 Ⅱ 14才 四

ウミヌ
ウヘ
ウフ
ウフ
ウツ
ウツ
ウツ
ウタヘ
ウシ
ウクツク
ウク
ウク
ウク
イル
イル
イル

悔 端 飢 餓 楚 扶 椅 岸 蛆 驟 敵 容 稟
4才ニ 24才四 14才一 14才一 14才三 5才一 5才五 11才六 15才五 12才五 2才五 16才ニ 14才五
ウミヌ ウヘ ウフ ウツ ウツ ウタヘ ウシ ウクツク ウク
ウ
彩 函 選
25才四 25才ニ 12才六
イル イル イル イラハ

悔 端 餐 扶 椅 崖 岸 虫蛆 驟 敵 稟
觀法中 94 七 觀法上 92 七 觀僧上 110 六 觀仙本 51 一 觀仙本 73 四 觀法上 111 八 觀法上 111 八 觀僧下 18 五 觀僧中 104 六 觀僧中 49 四 觀法下 9 一
ウミヌ ウヘ ウフ ウツ ウツ ウタヘ ウシ ウクツク ウク
ウ
彩 函 選 鯁
觀法中 94 七 觀法上 92 七 觀僧上 110 六 觀仙本 51 一 觀仙本 73 四 觀法上 111 八 觀法上 111 八 觀僧下 18 五 觀僧中 104 六 觀僧中 49 四 觀法下 9 一 觀高 26 二 觀僧下 71 八 觀鎮 94 五

オト オツ オツ オツ オツ オツ オツ オツ オク
エヤ三 エ
ウル ウヤ ウム

長 零 悼 怖 懼 惶 穀 輸 將 據 疫 敢 離 履 膿
22才六 14才ニ 4才ニ 4才ニ 4才一 4才一 22才ニ 13才ニ 24才六 5才ニ 18才五 22才一 16才ニ 21才三 17才四
オツ オツ オツ オツ オク
エヤ三 エ
ウル ウム

47

怖 懼 穀 輸 將 將 據 疫 敢 警 膿
觀法中 94 一 觀法中 72 四 觀僧中 67 一 觀僧中 88 七 觀鎮 24 六 68 五 觀仙本 45 八 觀法下 116 七 觀僧中 60 三 觀僧中 133 六 觀公中 119 四

カクル	カクル	カク	カク	カク	カキコナス		オル	オル	オムナカツラ	オホフ	オホフ	オホヒ	オホシ	オフ	オフ	オヒク	オトス
暎	駕	襲	蝕	瑕	擾	力	降	織	苧	翳	輓	苜	御	擯	擔	舟	威
17才五	12才五	24才六	14才二	11才五	5才三		13才五	10才四	10才三	23才五	25才四	10才三	18才六	5才一	4才五	22才四	20才三
*カクル	カクル	カク			カキコナス		オル	オル	オムナカツラ	オホフ	オホフ	オホヒ		オフ	オヒク	オトス	
咲高 95才七	咲 観 仏中 91 五	襲 観 仏中 80 五			擾 観 仏下本 62 二		降 図 198 一	織 観 法中 116 一	苧 苧 苧 観 僧上 41 五	翳 観 僧上 96 一	輓 観 僧中 73 五	苜 苜 苜 観 僧上 10 七			擔 観 仏下本 70 五	舟 観 仏下本 1 三	威 観 僧中 42 七

カミ	カフ	カフ	カフ	カフ	カフ	カヒ	カハラ	カツ	カツ	カソフ	カスオフ	カス	カサヌ	カクル	カクル	カクル	カクル
祇	變	牧	賃	離	噉	博	貝	籌	鈎	輸	捷	掠	輪	籌	苧	菁	雙
4才四	25才二	22才二	19才四	16才二	6才二	4才二	19才三	20才五	8才四	13才二	5才五	5才四	13才二	20才五	10才五	10才五	24才三
カミ	カフ	カフ		カフ		カフ	カヒ	カハラク	カナカキ	カツ	カツ	カソフ	カハオフ	カス		カサヌ	*カクル

祇	變	牧		響		博	貝	籌	鈎	輸	捷	掠	輪	籌		菁	雙
観 法下 2 二	観 僧中 53 四	観 僧中 61 三		観 僧中 133 六		観 仏上 82 七	観 仏下本 13 六	観 僧上 62 四	観 僧上 123 四	観 僧中 88 七	観 仏下本 58 七	観 仏下本 65 三	観 僧中 88 七	観 僧上 62 四		観 僧上 12 一	鎮 五 119 六

NII-Electronic Library Service

サレ	ササキ	サク	サク	サク	サク	サキ	サカス	サカス		コム	コホルス	コホルツ	コフ	コレナ		コレシ	コトナ	コシ
衣	鶴	裂	裁	刑	栗	崎	涼	揚	サ	窄	溢	壕	将	泥		慕	柱	却
23才三	15才六	23才三	20才一	13才四	11才四	12才一	16才四	5才一		16才四	9才一	8才一	24才六	9才四		10才五	11才一	13才六
サレ	サハキ	サク	サク	サク	サク	サキ	サカス			コム	コホルス	コホル		コレナ	(コレシ)	コレシ	コトナ	

衣	鶴	裂	裁	刑	栗	崎	涼			窄	溢	壕		泥	鶴	慕	柱
法華經卷第四	鶴觀僧中11五	裂觀法中149五	裁觀僧中41七	刑觀僧上92四	栗觀僧下本11三	崎觀法上107三	涼觀法上46四			窄觀法下64八	溢鎮Ⅱ2才四	壕觀法中65八			鶴守鏡一68六	慕觀僧上2三	柱觀僧下本109二

シル	シフカス	シハ	シヌ	シヌ	シヌ	シツム	シツム	シコツ			サラケ	サメク	サム	サフ	サハル	サネ	サテ
----	------	----	----	----	----	-----	-----	-----	--	--	-----	-----	----	----	-----	----	----

澤	澀	理	殛	没	戚		鎮	護	シ		寔	颯	寤	擁	闌	奴	灑
9才五	9才三	11才一	22才一	9才五	20才一		8才五	3才六		22才二	24才四	16才五	47才五	19才一	14才五	9才二	
シル			シヌ	シヌ		*シツム	シツム	シコツ		*サヲケ	サメク	サム	サフ	サハル	サネ	佐天	

澤		殛	没		鎮	鎮	護			寔	颯	寤	擁	闌	奴	灑
觀法上41八		觀法下130五	觀法上42二		鎮Ⅱ45才三	鎮觀僧上137六	觀法上52四			寔鎮Ⅲ31才二	颯觀僧上102七	寤觀僧下52四	擁觀僧下73一	闌觀法下81八	奴高35才一	灑因10六

ス フ	ス ツ	ス ツ	ス ツ	ス ミ		ス シ	ス サ フ	ス ク ル	ス ク ル		ス ク ム	ス ク	ス ク	ス ク	ス		ス		
輸	捐	損	筋	將		酸	荒	雄	飽		澀	邁	灑	躍	酸		將 ス		
13才 ニ	5才 六	5才 四	20才 五	24才 三		20才 六	10才 一	16才 一	14才 一		9才 三	12才 五	9才 二	6才 一	20才 六		24才 六		
ス フ	ス ツ	ス ツ	ス ツ	ス ハ ミ	* ス ハ シ	ス シ	ス サ フ	ス ク ル	ス ク ル	* ス ク ム テ	ス ク ム テ	ス ク			ス	ト ハ	ト ス		
輸	捐	損	筋	將	酸	酸	荒	雄	飽	澀	澀	邁			酸	欲	將 將		
觀僧中 88 七	觀仙本 下 8 八	觀仙本 下 8 八	觀僧上 62 七	觀僧中 6 三	鎮Ⅱ 54 四	觀僧下 59 八	觀僧上 8 一	觀僧中 133 四	觀僧上 112 八	鎮Ⅱ 107 七	觀法上 19 六	觀仙上 54 一			觀僧下 59 八	觀僧中 49 八	圓 68 五	鎮Ⅱ 247 六	
タ ハ シ	タ ハ シ	タ ハ シ	タ ハ シ			ソ ル	ソ ラ	ソ フ ネ	ソ フ	ソ ス			ス ル	ス ル	ス ミ ニ	ス ミ	ス ミ	ス ヘ シ	ス フ
薰	掉	長	妮	夕		剃	曠	奴	傍	殺	ソ		捫	校	純	矩	方	容	宛
10才 ニ	5才 一	22才 六	4才 一			13才 五	19才 二	4才 五	2才 一	2才 一			5才 三	5才 五	10才 四	2才 一	2才 五	16才 二	22才 四
タ ハ シ			タ ハ シ			ソ ル			ソ フ	ソ ハ ツ				ス ル		ス ミ	ス ミ		
薰			妮			剃		傍	殺				校		矩	方			
觀僧上 15 七			高			觀僧上 93 七		觀仙上 3 八	觀僧中 59 七			法華經華 字 24 六		觀僧中 33 三	觀僧中 30 七				

毛	乳	子	足	欠	雉	狂	惜	秉	土	殖	柱	據	影	臂	臂	疊
23才	23才		6才	24才	16才	15才	4才	26才	17才	22才	17才	5才	22才	25才	18才	22才
二	一		六	四	一	三	五	一	六	四	一	二	六	五	二	五
子	※			タ	タ	※	タ	タ		タ	タ		タ		タ	タ
ウ	ウ		ス	ル	ル	ハ	ハ	ハ		ツ	ツ		カ		ム	ミ
シ	シ					フ	フ	又					ミ		キ	

乳牛	觀	法下	40	三	秉	觀	法下	40	三	惜	觀	法中	78	二	惜	觀	法中	78	二	症	觀	法下	121	二	雉	觀	僧中	136	二	欠	觀	僧中	44	八	乳牛	觀	法下	109	二	殖	觀	法下	129	三	柱	觀	法下	129	三	影	觀	法下	33	一	臂	觀	法中	125	一	疊	觀	法中	111	五
----	---	----	----	---	---	---	----	----	---	---	---	----	----	---	---	---	----	----	---	---	---	----	-----	---	---	---	----	-----	---	---	---	----	----	---	----	---	----	-----	---	---	---	----	-----	---	---	---	----	-----	---	---	---	----	----	---	---	---	----	-----	---	---	---	----	-----	---

テ
シ
ロ

ツ
ラ

ツ
ム

ツ
ヒ
タ
リ

ツ
ハ
キ

ツ
ム

ツ
ク
ス

ツ
ク

ツ
ク

ツ
ク

ツ
ク

ツ
ク

ツ
キ
ヌ

ツ
カ
ル

ツ
カ
ル

ツ
カ
ル

釧	テ	擢	提	弊	痰	嗽	缺	第	膠	眼	系	注	擣	駁	勞	疲	億	ツ
8才 四		4才 六	5才 二	25才 一	18才 六	6才 二	24才 六	9才 三	17才 四	17才 三	10才 三	8才 三	5才 五	21才 四	21才 一	18才 五	29才 四	
テ シ ロ		ツ ム	ツ ヒ タ リ	ツ ハ キ			ツ ク		ツ ク	ツ ク	ツ ク	ツ ク	ツ ク	ツ キ ヌ	ツ カ ル	ツ カ ル	ツ カ ル	

錮	提	疾	第	服	系	注	擣	歇	勞	疲	憊
觀僧上 123 四	觀仙下本 78 六	觀法下 114 二	觀僧上 37 四	觀仙中 133 四	因 287 二	觀法上 34 八	觀仙下本 73 四	觀僧中 45 三	觀僧上 83 二	觀法下 127 八	觀法中 91 二

ハシ	ハシ	ハシ	ハシ	ハク	ハカル	ハカシム	ハ		ノント	ノリ	ノリ	ノフ	ノコフ		ネル	ネキラフ	
序	途	涸	躋	薄	盡	舟	齒	ハ	咽	典	矩	序	技	ノ	鍊	勞	ネ
18才ニ	12才五	9才六	6才一	9才四	24才一	22才四	25才四		6才三	24才六	25才一	18才ニ	5才五		8才三	21才一	
ハシ	ハシ	ハシ	ハシ	ハク	ハカル	ハカシム	ハ			ノリ	ノリ	ノフ	ノコフ		ネル	ネキラフ	

序	途	涸	躋	薄	盡	舟	齒		典	矩	序	技		鍊	勞
觀法下104四	觀仙上52七	觀法上3ニ	觀法上74六	觀僧上28八	觀僧中14七	觀仙下本1三	觀法上162六		觀法上1四	觀僧中33三	觀僧中38一	觀仙下本43五		觀僧上132三	觀僧上83ニ

ヒク	ヒク	ヒク	ヒク	ヒカル		ハル	ハラフ	ハマル	ハヘ	ハフ	ハム	ハチ	ハチ	ハチ	ハチ	ハタル	ハタシ	ハシメ
----	----	----	----	-----	--	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

削	據	摧	搗	潔	ヒ	零	慧	戲	蠅	扶	憚	術	械	將	抱	微	踐	序
13才四	5才ニ	5才三	5才一	11才三		17才ニ	24才五	20才一	15才四	5才一	4才五	18才五	7才一	6才五	5才三	18才四	6才三	18才ニ
ヒク	ヒク	ヒク	ヒク				ハラフ		ハヘ	ハフ	ハム			ハチ	ハチ	ハタル	ハタシ	

削	據	携	搗		慧	蠅	扶	憚		將	抱	微	踐
觀僧上87六	觀仙下本45八	觀仙下本70四	觀仙下本74一		觀僧下105六	鎮Ⅱ 10才三	觀仙下本51ニ	觀法中77五		觀仙下本51四	觀仙下本40六	高 22才一	觀法上88五

フシテ	フム	フム	フム	フタ	フス	フク		ヒル	ヒトシ	ヒトコロヘリ	ヒト	ヒナリコ		ヒナ	ヒタヒ	ヒサ	ヒコツラフ	ヒケ
毫	履	藉	踐	蓋	寢	葦	フ	咲	匹	匹	仙	泥	臂	臂	揚	膝	拏	髻
2才ニ	2才三	10才一	6才三	24才一	16才六	10才五		11才五	12才一	12才一	2才三	9才四	25才五	18才ニ	5才一	17才六	5才四	22才一
フムテ		フム	フム	フタ		フク		ヒル	ヒトシ	ヒトコロヘリ		比知利古		ヒナ	ヒタヒヒロニ	ヒサ	ヒコツラフ	ヒケ
毫		藉	踐	蓋		葦		咲	匹	匹高		泥		臂	揚	膝	拏	髻
観僧上 102 七		観僧上 30 八	観法上 88 五	観僧中 15 一		観僧上 12 一		観仏中 91 五	高 34才三	高 34才三		図 39 四		観仏中 125 一	観仏下 55 三	観仏中 123 二	観仏上 52 四	観仏下 36 七
マナ	マク	マク	マク		マカフ			ホフル	ホトホル	ホス	ホコ	ホク		ヘル	ヘル	ヘス	ヘク	
區	輪	狂	羸		縮	マ		屠	熨	乾	爻	老	ホ	携	諫	減	減	ハ
12才一	10才ニ	5才三	25才六		11才ニ			21才四	17才三	23才一	22才一	23才ニ		5才一	3才四	16才五	16才五	
	マク	マク	マク		トマカフ			ホフル	ホトホル	ホス	ホコ	ホク		ヘル	ヘル	ヘス	ヘク	
				※トマカヘリ														
55	輪	狂	羸		縮	マ		屠	熨	乾	爻	老		携	諫	減	減	
	観僧中 88 七	観仏下 77 七	観僧下 44 二		観僧中 119 八			観法下 89 一	観仏下 41 五	観法下 142 二	観僧中 36 四	前老葉 上例三		観仏上 74 一	鎮Ⅱ 30才三	鎮Ⅱ 24才三	観法上 33 八	

56

ユル フ	ユ フ	ユ ハ リ	ユ ク	ユ ク	ヤ ル	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ ム	ヤ マ シ	ヤ マ コ	ヤ マ	
爛	縛	溺	將	邁	ユ	將	鵠	屠	歇	微	癢	寢	寢	懼	勞	獮	輻
17 一	10 五	8 五	24 六	12 五		24 六	23 四	21 四	21 四	18 四	19 一	16 六	16 六	4 一	21 一	15 二	13 一
ユ ル フ	ユ フ		ユ ク	ユ ク		ヤ ム	ヤ ム	ヤ ミ ム 又	ヤ ム	ヤ ム		ヤ ム	ヤ ム	ヤ マ シ	ヤ マ コ		※ ヤ フ サ カ ル

爛	縛		將	邁		鵠	屠	歇	微	癢		寢	懼	勞	獮	堅
觀 仏 下 末 42 一	觀 法 中 134 六		觀 仏 下 末 8 四	觀 仏 上 54 一		觀 仏 中 25 一	觀 法 下 89 一	觀 僧 中 45 三	高 27 一	法 華 經 尊 字 23 六		觀 法 下 53 八	觀 法 中 72 四	觀 僧 上 83 二	觀 仏 本 130 八	堅 図 255 二

ワ レ	ワ ル	ワ ル	ワ ク	ワ カ 又	ヨ ル	ヨ ル	ヨ ル	ヨ ル		ヨ ハ フ	ヨ ト ミ	ヨ ト	ヨ キ		ユ ル フ
--------	--------	--------	--------	-------------	--------	--------	--------	--------	--	-------------	-------------	--------	--------	--	-------------

言	裂	部	宛	宛	ワ	冥	階	藉	據	喚	審	激	斧	ヨ	羽
27 五	27 三	13 三	16 二	16 二		16 六	13 六	10 一	57 二	57 六	16 一	97 一	26 三		27 六
ワ レ	ワ ル	ワ ル		ワ カ 又				ヨ ル	ヨ ル	ヨ ハ フ	ヨ ハ フ	ヨ ト ミ	ヨ キ		ユ ル フ

言	裂	部	宛		藉	據	喚	喚	審	斧	羽
觀 法 上 47 四	觀 法 中 149 五	觀 法 中 37 一	觀 法 下 53 一		觀 僧 上 30 八	觀 仏 下 本 45 七	觀 仏 中 46 二	觀 仏 中 46 一	觀 法 下 48 六	觀 僧 中 35 四	觀 僧 上 95 六

ヲサ ヲ エル

譯 緒 ヲ 醉 楚 斗
25 10 20 財 工
五 四 一 三
ヲサ ヲサ エフ

譯 譯 絲 醉
岡 觀 觀 觀
93 法 法 僧
七 上 中 下
69 111 63
一 二 八

ヲロ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ
ク リ リ レ ノ ツ ツ ツ
ク ク ク

蛇 宅 保 姪 斧 驟 躍 踊
15 16 2 14 2 12 6 6
四 一 三 五 三 五 一 一
ヲロ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ
ク リ リ レ ノ ツ ツ ツ
ク ク ク

蛇 宅 保 姪 斧 驟 躍 踊
觀 觀 觀 高 觀 觀 觀 觀
僧 法 仏 上 僧 僧 法 法
下 下 上 33 中 中 上 上
16 53 33 54 54 88 88
六 六 一 二 四 六 七 六

以
上

(昭58・11・4受理)